

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-70311

⑬ Int. Cl.

F 21 V 19/02  
F 21 M 1/00

識別記号

庁内整理番号

2113-3K  
6908-3K

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月14日

審査請求 有 (全2頁)

⑮ 考案の名称 電球光源移動式の投光照明装置

⑯ 実 願 昭59-154543

⑰ 出 願 昭59(1984)10月13日

⑱ 考 案 者 川 端 理 嗣 豊中市曾根南町1丁目5-5

⑲ 考 案 者 人 羅 昇 三 奈良県北葛城郡河合町中山台1丁目3-15

⑳ 出 願 人 株式会社 佐々木電機 八尾市若林町2丁目58番地  
製作所

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

放物面反射鏡の焦点位置に電球のフィラメントを合わせ、電球を放物面反射鏡の光軸と平行に移動することにより、フィラメント位置を焦点より光軸に対し平行移動するようにしたことを特徴とする電球光源移動式の投光照明装置。

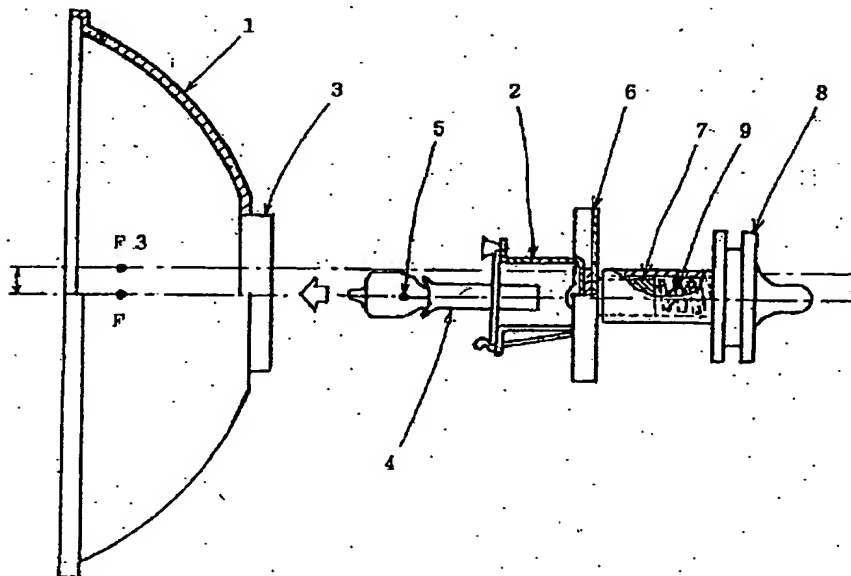
## 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す一部を切り欠いた側面図、第2図は反射鏡の焦点位置に光源を配

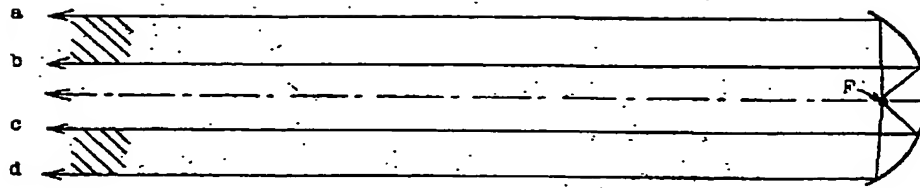
設した反射投光状態図、第3図は光源を光軸上で反射鏡に近づけた反射投光状態図、第4図は光源を光軸上で反射鏡より遠ざけた反射投光状態図、第5図は光源を光軸に対し平行移動した反射投光状態図である。

符号の説明、1…反射鏡、2…ソケット、3…ガイド、4…電球、5…フィラメント、6…スライド板、7…シャフト、8…スイッチレバー、9…コイルバネ。

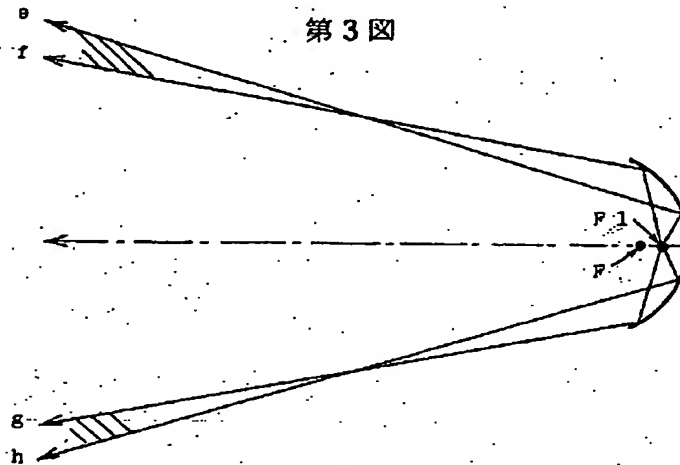
第1図



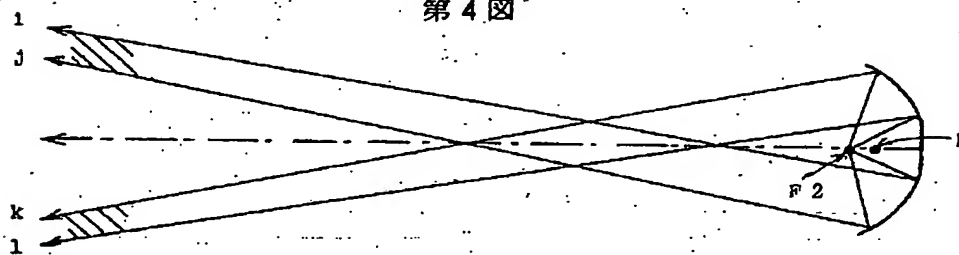
第2図



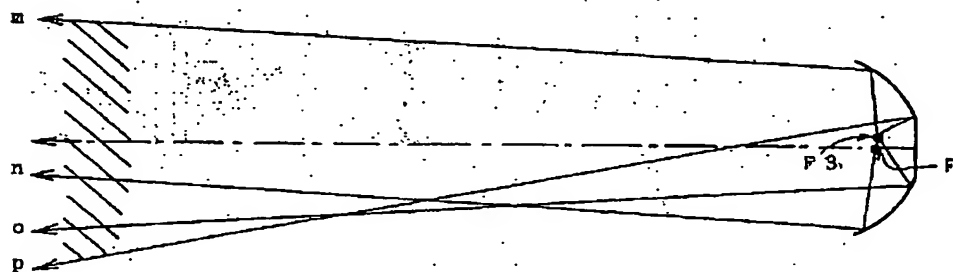
第3図



第4図



第5図



# 公開実用 昭和61-70311

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-70311

⑮ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)5月14日

F 21 V 19/02

2113-3K

F 21 M 1/00

6908-3K

審査請求 有 (全 頁)

⑭ 考案の名称 電球光源移動式の投光照明装置

⑯ 実 願 昭59-154543

⑰ 出 願 昭59(1984)10月13日

⑱ 考 案 者 川 端 理 嗣 豊中市曾根南町1丁目5-5

⑲ 考 案 者 人 羅 昇 三 奈良県北葛城郡河合町中山台1丁目3-15

⑳ 出 願 人 株式会社 佐々木電機 八尾市若林町2丁目58番地  
製作所



以上のように本考案は、電球のソケットをわずかに移動させるのみで、反射鏡の反射光を集光状態の投光より拡散状態の投光へ簡単に切り換えることができ、拡散された照光面を均等の明るさで投光照明する実用性の高いものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す一部を切り欠いた側面図、第2図は反射鏡の焦点位置に光源を配設した反射投光状態図、第3図は光源を光軸上で反射鏡に近づけた反射投光状態図、第4図は光源を光軸上で反射鏡より遠ざけた反射投光状態図、第5図は光源を光軸に対し平行移動した反射投光状態図である。

#### 符号の説明

1……反射鏡、2……ソケット、3……ガイド、4……電球、5……フィラメント、6……スライド板、7……シャフト、8……スイッチレバー、9……コイルバネ

実用新案登録出願人

株式会社 佐々木電機製作所

代表者 佐々木敏子



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

電球光源移動式の投光照明装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

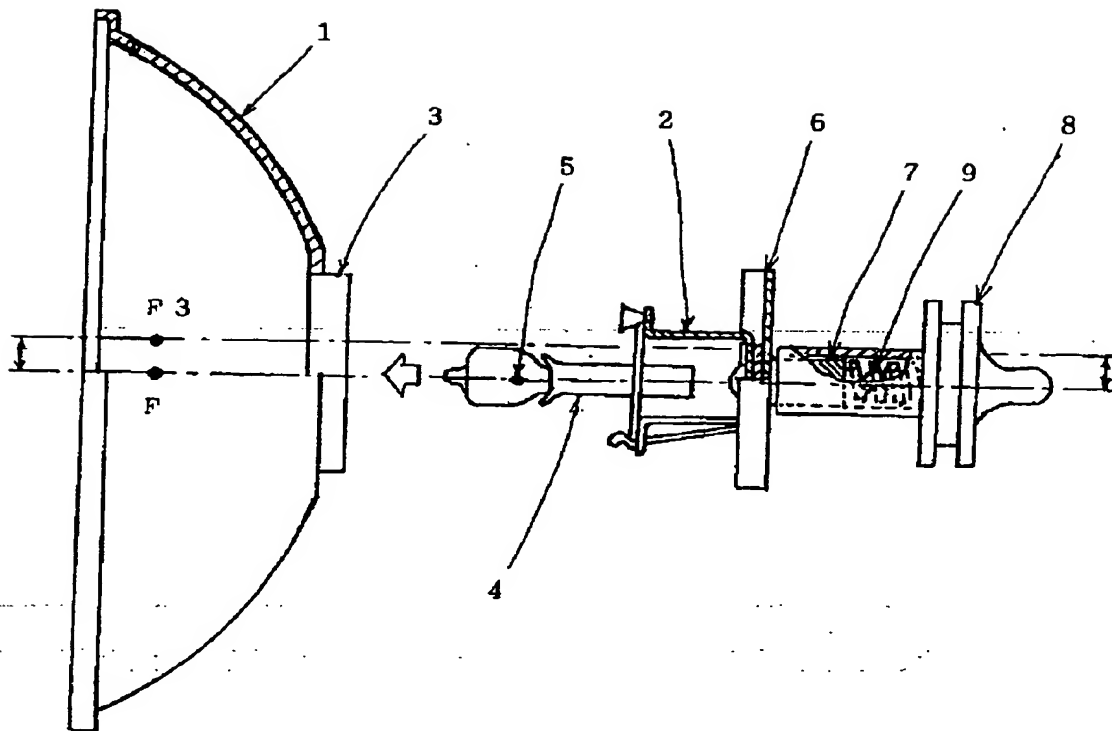
放物面反射鏡の焦点位置に電球のフィラメントを合わせ、電球を放物面反射鏡の光軸と平行に移動することにより、フィラメント位置を焦点より光軸に対し平行移動するようにしたことを特徴とする電球光源移動式の投光照明装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は反射鏡に対する電球光源を移動することにより集光又は拡散する投光照明装置に関するものである。

従来、放物面反射鏡の焦点位置  $F$  に光源を配設すると反射鏡による反射光は第2図の  $a$ 、 $b$ 、 $c$ 、 $d$  のように反射鏡の光軸に対して平行光線となって集光した投光が得られるが、集光状態より拡散状態の投光に切り換える場合は反射鏡又は光源のいずれか一方を反射鏡の光軸上で遠近移動することにより拡散投光することができる。この場合第

第 1 図



実用新案登録出願人  
株式会社 佐々木電機製作所



中心線を光軸に合わせて、電球 4 のフィラメント 5 を反射鏡 1 の焦点 F に合わせた位置において平行状に相對するガイド 3 面の夫々にソケット 2 後面に固定したスライド板 6 を嵌挿させる。スライド板 6 に一端部を固着したシャフト 7 は他端部をスイッチレバー 8 に設けた円柱状の穴にコイルバネ 9 を挟み込むようにして挿入し、スイッチレバー 8 は図示していないが灯器に設けたスライド溝にスライド可能な状態で装着する。反射鏡 1 も灯器に固定されており、スライド板 6 がガイド 3 に圧接され、スイッチレバー 8 を横方向へスライドさせるとフィラメント位置も同様にスライドするように構成する。

本考案は以上の構成にして、スイッチレバー 8 をスライドさせるとソケット 2 は光軸に対して平行に移動するが、電球 4 のフィラメント 5 を焦点 F に合致させると反射鏡 1 の反射光は集光投光となり、フィラメント 5 を F 3 点に移動させると第 5 図に示すように反射鏡光は  $m \sim p$  に拡大されてその間は均等に照光される。



3 図に示すように反射鏡の焦点位置より光源F1を光軸上で反射鏡に近づけると反射鏡による反射光 e と f 及び g と h は光軸より拡散していくが、f 線と g 線は交叉することなく、従って f と g 間は反射鏡効果が得られず極端に暗い部分となってドーナツ状の投光となる。次に第 4 図に示すように反射鏡の焦点位置より光源F2を光軸上で反射鏡より遠ざけると、反射光 i と j は k と l に交叉後光軸より拡散し、従って j と k 間は暗い部分となってドーナツ状の投光となる。

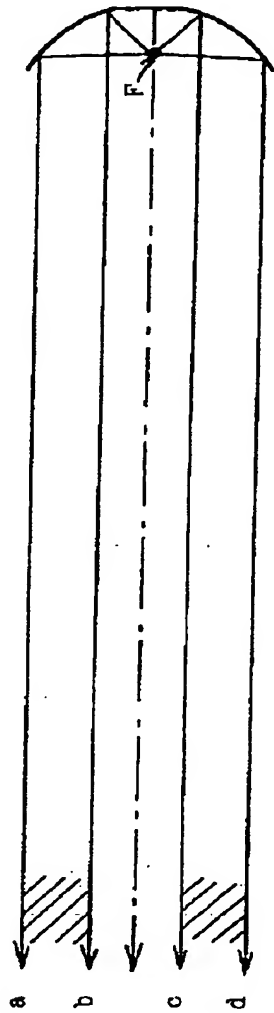
以上のように反射鏡の光軸上を反射鏡に対して遠近移動すると拡散投光はドーナツ状の投光になり、照光面が均等の投光照明はできなかった。

本考案は拡散された照光面を均等の明るさで投光照明するものである。

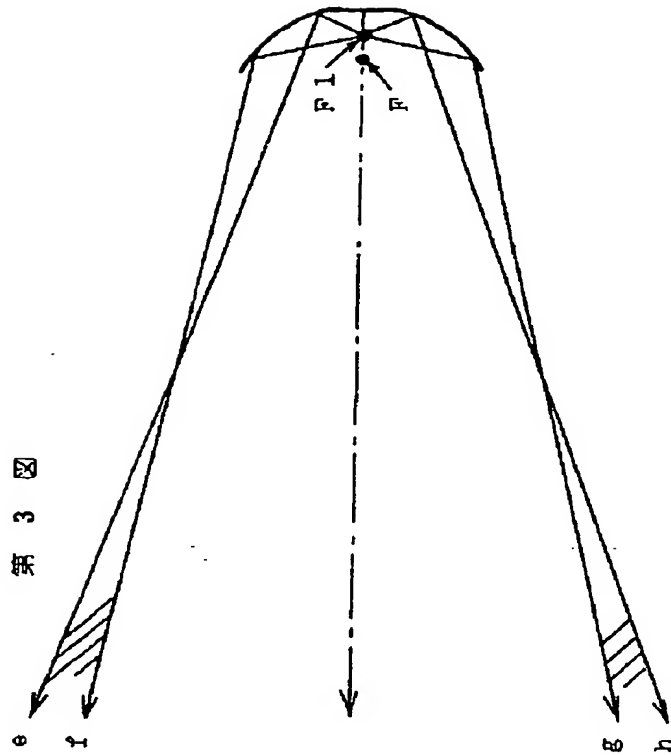
本考案の実施例を図面により説明すると、放物面反射鏡 1 の光軸中央部にソケット 2 よりやや大きい穴を設け、その穴縁 2 箇所より反射鏡 1 の反射面と反対方向に板状のガイド 3 を平行状態に突出させる。ソケット 2 に電球 4 を装着し、電球 4



第2図



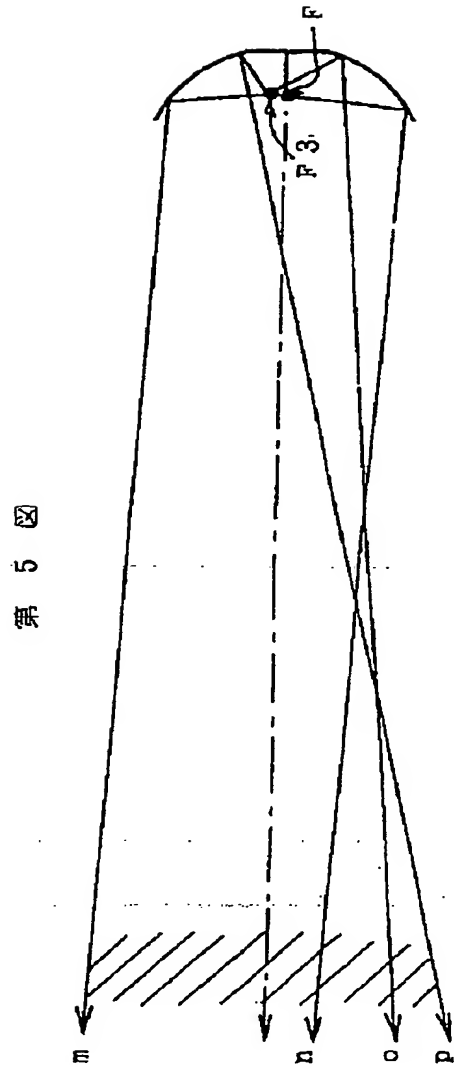
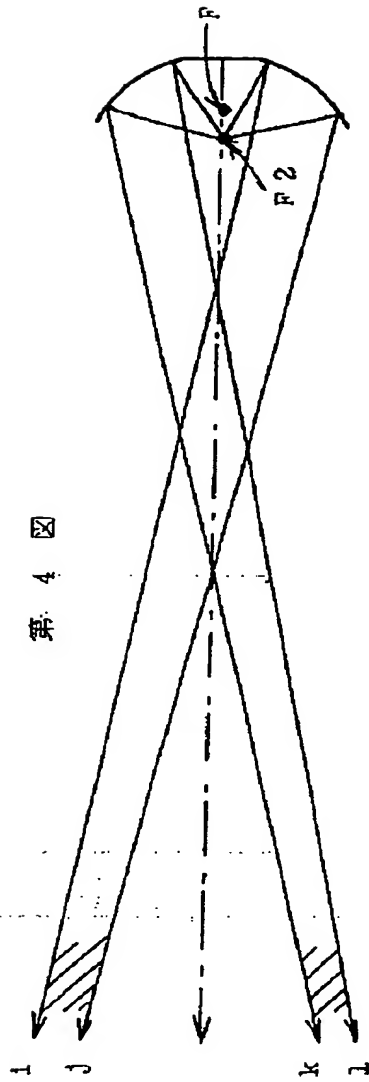
第3図



実用新案登録出願人  
株式会社 佐々木電機製作所

97

61-70311



実用新案登録出願人  
株式会社 佐々木電機製作所

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record.**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☒ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☒ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**